一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会会報

全溶連

令和3年 1月　第195号　www.zenyoren.com/

●全溶連　みんなで創ろう　新たな未来
●新時代　つないでいこう　保安意識

第11回 写真コンテスト優秀作品
「秋空に舞う獅子」
藤原　康次郎 様
（埼玉：㈱サイサン敷島ガスワン）

深尾会長年頭挨拶 …… 2
表彰・新春座談会中止のお知らせ 他… 3
第28回保安対策連絡会議 …… 4
写真コンテスト佳作作品 …… 7
単位組合紹介 …… 8
HPリニューアルのお知らせ …… 9
賛助会員の広場 …… 10
お知らせ …… 11

令和3年 会長年頭挨拶

一般社団法人
全国高圧ガス溶材組合連合会
会長 深尾 定男

明けましておめでとうございます。高圧ガス並びに溶材業界の皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また、平素より全溶連の事業活動に対しまして格別のご指導ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により社会的、経済的な混乱が広がり、企業活動にも大きな影響がありました。また、働き方においても、飛沫感染や接触感染を避けるため、通勤から在宅勤務へと変化が進んだ年でもありました。

全溶連では、感染拡大防止の観点から、昨年6月の総会を書面による決議とし、各委員会活動においても一堂に会しての開催を控え、オンライン会議や書面等での対応と致しました。また本年6月に開催を予定していた全溶連大会については、大阪で総会として開催することとし、当初予定していた九州大会は2年後に延期することと致しました。ちなみに、例年各地域で開催されている消費者保安講習会の開催状況ですが、アンケートを実施したところ、「ウイルス感染防止対策を徹底した上で開催する」が全体の約半数（48%）、「開催を断念した」が20%、「未だ検討中」が12%という結果でした。コロナ禍は未だ終息の兆しが見えておらず、本年も引き続き緊張感をもって感染防止に努めながら、活動を継続して参ります。

一方で、近年、台風による河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が頻度・規模ともに拡大し、これまでの常識が通用しないレベルの災害が多く発生していることも忘れてはなりません。引き続き全溶連では、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等、社会的不安を解消すべく日本産業・医療ガス協会と協力して対策の徹底を図って参ります。

高圧ガスは人々の生活だけでなく産業用、医療用の分野に加え、防災対策上も必要不可欠な資源であります。災害時においては業界全体が、安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、被災情報の収集など、関係機関との連携強化が重要です。しかしながら、消費先における高圧ガス災害事故状況は、依然として高水準で推移しており、いずれの事象においても誤操作・誤判断によるヒューマンファクターが上位を占めています。

こうした状況を踏まえ、全溶連と致しましては、高圧ガス消費者と直接結びついている全国組織として、消費先においての取扱いガスの特性や機器の使用方法再確認や、高圧ガスの保安確保のための設備点検、自主保安体制強化について引き続き啓発活動を行って参ります。放置容器、停滞容器の危険性を重視した取り組みにおいては、関係団体と協力し、放置容器、停滞容器の発生防止と保安の確保、容器の効率的運用を促すべく、10月の高圧ガス容器全国一斉特別回収を実施しております。また、自主保安活動の一環として、消費者向けの高圧ガスを安全にご利用頂くための保安文書、販売店向け社内教育の文書も多数刊行しております。今後も、保安文書改訂、新規発行など各種保安資料の提供を通じ、消費者保安の確保に向けて一層努力して参る所存です。

つきましては、年頭にあたり全溶連会員の皆様をはじめ各関係業界の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げますとともに、引き続き全溶連の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

栄えある受賞 おめでとうございます

令和2年10月23日第57回高圧ガス保安全国大会については、新型コロナウィルス拡大の観点から参加人数に制限を設けて開催されました。今年度における高圧ガス保安経済産業大臣表彰を始めとする各表彰者のうち全溶連会員多数の方が表彰されました。

経済産業大臣表彰

優良製造所
沼津酸素工業株式会社（静岡県）

優良販売業者
有限会社大玉溶材（三重県）
有限会社本瀬商会（山口県）

保安功労者
伊藤俊一氏　福島酸素株式会社（東北支部）
大嶋久邦氏　株式会社尾三熔材（愛知県）
本川淳一氏　本川産業株式会社（京都府）
馬場俊和氏　株式会社馬場酸素（大阪府）

優良製造保安責任者
若木栄朗氏　ヤマサンガス株式会社宇部ターミナル（山口県）

高圧ガス保安協会会長表彰

優良製造所
東海アセチレン株式会社 大井川充填所（静岡県）

優良販売業者
東海産業株式会社 千葉支店（千葉県）
丸由工材株式会社（東京都）
昭和溶材株式会社（大阪府）

保安功労者
瓦井浩之氏　光酸素株式会社（栃木県）
折茂紀彦氏　協和商工株式会社（群馬県）
松嶋克典氏　有限会社東屋商店（群馬県）
鈴木柾批左氏　鈴木機工株式会社（東京都）
椋橋明次氏　大陽日酸ガス＆ウェルディング株式会社（大阪府）
澤田優雄氏　アバンテ都島株式会社（大阪府）
宮嶋寛幸氏　福豊帝酸株式会社（福岡県）

優良製造保安責任者
金井博之氏　カンサン株式会社高崎事業所エアガス工場（群馬県）

優良販売主任者
矢野孝士氏　株式会社モテキ（群馬県）

保安功績者B
石川尚久氏　内田商事株式会社（神奈川県）

記念行事のお知らせ

行　事　名：九州高圧ガス流通保安連合会創立70周年記念総会
予　定　日：未定
開 催 場 所：沖縄
参加予定者：50名

新春座談会中止のお知らせ

新春座談会は「山口県高圧ガス保安協会・一般ガス部会」を予定しておりましたが、新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から中止とさせていただきました。
何卒ご理解の程宜しくお願いいたします。

第28回 保安対策連絡会議

2020年11月19日（木）メルパルク東京において業界関係者による第28回保安対策連絡会議が行われました。

出席者	（一社）日本産業・医療ガス協会	岩戸常務執行役員
	（一社）日本溶接協会ガス溶断部会	谷口安全推進委員長
	日本乾式安全器工業会	西田会長
	（一社）全国高圧ガス容器検査協会	伊藤常任理事
	（一社）全国高圧ガス溶材組合連合会	深尾会長、大岡保安委員長、鈴木保安副委員長、佐藤経済委員長、廣瀬経済副委員長、関口事務局長他1名　　計11名（敬称略）
	業界誌関係	産報出版㈱　1名、新報㈱　1名

深尾会長

開会にあたり、深尾会長より「本日の開催にあたっては、新型コロナウィルス感染対策の一環として、ソーシャルディスタンスを確保するために会場を変更致しております。加えて、マスクの着用、消毒の徹底について、皆様にご協力をお願いしておりますこと、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

本会議も平成5年以来、毎年の開催を重ね、今回で28回目を迎えることが出来ました。これもひとえに、関係団体ならびに会員の皆様方のご理解ならびにご協力の賜物と感謝申し上げる次第であります。

さて、新型コロナウィルス禍ということもさることながら、近年では台風による河川の氾濫、土砂災害などの自然災害が頻発するとともに、その規模が拡大し、これまでの常識では予測出来ないレベルの被害が発生しております。

引き続き全溶連では、河川の増水に伴う高圧ガス容器の流出等、社会的不安を解消すべくJIMGAと協力して対策の徹底を図って参ります。

高圧ガスは人々の生活だけでなく産業用、医療用の分野に加え、防災対策上も必要不可欠な資源であります。災害時においては業界全体が、安定供給と保安確保に支障をきたすことのないよう、災害規模に応じた適切な対応はもとより、減災、防災のための対応として、被災情報の収集など、関係機関との連携強化が求められております。

一方、消費先における高圧ガス事故件数は、依然として高い水準にあり、特に、酸素、アセチレンガスによるガス溶接・溶断作業での事故が多く、その原因は、誤操作・誤判断、不良行為等のヒューマンファクターが大半を占めており、これらを含めて事故の抑制・回避の為には、全国の消費者と直接結びついている販売店の組織である全溶連として、高圧ガスの保安の確保、コンプライアンスの徹底と、高度な自主保安体制の構築とによって、消費者の皆様が保安意識を更に強化され、高圧ガスの設備の日常点検を行っていただくことが大変重要だと認識しております。

また、全溶連とJIMGAでは、放置容器の危険性を重視し、高圧ガス容器回収、早期返却、契約推進に関する啓発のために、今年も10月に高圧ガス消費事業所向けのポスターを全国の会員各社のお客様に配布し、放置容器回収運動に取り組んでいます。

また、今月は危険物運搬車両に対する指導取締りが行われ、コロナ禍の中ではありますが、感染防止対策をしっかりと行ったうえで、保安活動に注力して参る所存です。

最後になりますが、本日は限られた時間ではあ

りますが、皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、今後の保安対策に盛り込んで参りたい。」と挨拶の後、会議進行役の佐藤経済委員長の進行により議事に入った。

最初に報告事項ということで前年度議事録の確認、消費先における容器事故の分析と容器処理事業の実施状況に関する報告を行った後、各団体における保安活動、事故対策の取り組み及び問題点について意見交換を行った。

◇全国高圧ガス溶材組合連合会

今年度の保安委員会の活動について報告すると共に、保安教育に役立つWebコンテンツの紹介を全溶連保安委員長である大岡委員長より説明を行った。

・周知文書は毎年４月に発刊しており、今年も2020年度版を作成し260,000部を利用頂いている。2020年度における周知文書（溶接・溶断高圧ガス向け）の変更箇所について添付資料（新旧対照表）に基づき説明を行った。
・放置容器特別回収は毎年10月1日～10月31日の1ケ月間実施。不明容器、停滞容器、放置容器の特別回収は昭和62年より実施しており今回で33年目となる。放置容器特別回収ポスターはJIMGA・全溶連にて4,400枚を作成し、販売店に配布しており、回収結果は11月末頃に集計が完了できる見込みである。
・コロナ禍により一同に会しての会議が困難であることから、常置委員会のオンライン会議の可否についてアンケート調査を実施した結果、全溶連としては使用アプリをZOOMで行うことで考えており、使用に当たってはマニュアルを作成の上指導していく事で進めていきたい。
・消費者講習会アンケートの実施について

コロナウィルス禍により例年各地域で実施している消費者講習会の開催が中止となっているケースが散見されることから全溶連関係対象に対し、理事会・役員会、各委員会開催内容についてアンケート調査を行った結果、以下の回答が得られた。。

①何らかの形で開催　64%
・コロナ対応を行い開催　43%
・集合講習会以外で行う・その他　16%
②批判や責任を問題視
・検討中　12%
・コロナ都合で開催断念　20%
③毎年開催の可否を検討　4%

◇日本産業・医療ガス協会

JIMGAにおける保安活動、事故対策の取り組みについて

1．災害対策の推進

JIMGA
岩戸常務執行役員

令和元年房総半島台風・東日本台風では、想定を超える高波や河川反乱により、高圧ガス容器がJIMGA会員の充填工場・貯蔵所から流出した。これを受けてJIMGAは「高圧ガス容器流出防止対策徹底のお願い」を全会員へ通知するとともに、充填工場・貯蔵所に対し、容器流出防止対策状況について調査を行い、1,225事業所から報告を得た。同事業所に対しJIMGA発行「高圧ガス充填工場及び貯蔵所の自然災害対策指針」を配布した。その結果、ハザードマップ上の浸水想定深度が1m以上の事業所を“高リスク事業所”と定義して、指針に沿った容器流出防止対策の徹底を要請した結果、該当する335事業所すべてより対策完了の報告を受けた。

今年も九州を始め各地で台風・豪雨による被害が発生しているが、現時点での一般高圧ガス容器流出報告は無いことから取組の効果が出ていると思料している。

2．保安強化で安全・安心・安定の追求

全溶連、KHK他関連団体と合同で毎年10月に「高圧ガス容器全国一斉特別回収月間」として放置容器や長期停滞容器の回収を推進しているが、回収される放置容器は、年によって増減があるものの、この10年を平均すると毎年1,800本程度で推移しており減少傾向にない状況が続いている。

昨年の回収実績としては、放置容器が1,736本（内不明容器が539本）、長期停滞容器が50,641本であった。長期間放置され再検査が行われない容器は、腐食による破裂の危険性が高まり、今年8月にも山梨県の民家に40年ほど放置されていたヘリウム容器が破裂する事故が発生した。（負傷者なし）。これと同時に錆びついていた別の容器が1本あり、その処理方法を巡って大騒ぎになった。結果的にJIMGA会員会社にて処理することができたが、KHKに対しこのような処理方法の基

準策定や中央容器管理委員会の開催を求め、放置容器が発生しない仕組みづくりについて議論したい旨を申し入れている。

今年は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、例年のような保安セミナーが開催できない状況にあり、8月に九州と近畿2ケ所で実施したものの、他の地域は軒並み中止している。今後は、会員各社で使えるツールとしての各種保安講習用スライド（ナレーション付き）を制作し、ウェブサイトに掲載していく予定である。

3. 広告活動範囲拡大で社会的認知度向上

①本年8月に新しいJIMGAウェブサイトを公開した。災害発生時には「災害時緊急掲示板」をトップページに開設し、会員同士の情報交換や支援要請などの緊急連絡に利用できるようにしている。

②全国の小中学校に寄贈されている「おしごと年鑑」にJIMGAページを掲載した。子供たちに高圧ガスについて知ってもらうだけでなく、父兄にも当業界の認知を期待している。

③サプライチェーンの機関である産業ガスと、ライフラインそのものである医療ガスの供給責任を果たしている当業界の事業を、昨年度より「モノづくりを支え　命を守る、インフラがある」というキャッチコピーで表現している。JIMGAウェブサイトの他、昨年制作したJIMGAのパンフレット、本年度制作のJIMGA REPORTでも、このキャッチコピーを前面に押し出した広告活動を推進している。

◇日本溶接協会　ガス溶断部会

保安活動、事故対策の取り組みについて

1. 外国語版「ガス溶断器の点検のお願い」パンフレットの改定

日本溶接協会
谷口安全推進委員長

ガス溶断器を対象とした「ガス溶断器の点検お願い」のパンフレットについて昨年度制作したベトナム語に加え、英語、中国語（2種類）、韓国語、ポルトガル語版を改訂し、計5ケ国語を無料でダウンロードできるようWebページに掲載した。

URL　http://www.jwes.or.jp/senmon/gs/archives/2020/10/post_6.html

また、一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会の会員会社の皆さんに日本溶接協会が作成したクリアファイルと併せパンフレット案内書を準備しているところである。（1,400部）

2. 講習会の開催

例年開催していた、「熱切断作業の品質と安全講習会」については、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から今年度の開催を中止とした、本講習会は平成16年から実施しており、過去16回の開催で約1,130名が受講している。

◇日本乾式安全器工業会

日本乾式安全器工業会
西田会長

日本乾式安全器工業会における活動報告について

⑴講師の派遣

2019年4月～2020年3月の期間で保安講習会、防災訓練等を22回実施

その間に乾式安全器の展示・パンフレット配布、設置の必要性、未設置の危険性の説明・逆火実験棟のデモを実施。

⑵業界紙による啓蒙活動度

自主点検（1年1回）、メーカー点検（3年1回）の実施促進のための啓蒙活動を業界紙にてアピール。

また、法的義務であるアセチレンガスだけではなく酸素ガス・その他の溶断用可燃性ガス（水素・プロパンガス・エチレンガス等）への安全器装着を推奨した。

・乾式安全器の定期点検に対するインタビュー記事　「保安特集」（溶接新報　2020.10.19号）
・乾式安全器の設置義務・点検・取替の促進記事「保安特集」（溶接ニュース　2020.10.20号）

⑶活動内容

1. 理事会（2回実施）

①2019年7月9日（15：00～）定期総会（都ホテル　京都八条）

会長・監事の改選　会長：高圧ガス工業㈱⇒㈱千代田精機（岡本氏）

副会長：第一産業㈱　（清原氏）　重任

監事：㈱千代田精機　ヤマト産業㈱（宮口氏）

②2019年12月3日（15：00～）理事会及び技術部会　合同会議（都ホテル　京都八条）

2. 講習会・講師派遣・展示会の実施内容（22回実施）

2019年7月11日～2020年2月21日の間に22回実施した

①講習会：11ケ所にて実施。
（兵庫、大阪、三重、宮城（2回）、長野、岐阜、京都南部、京都北部（2回）西東京）

②防災訓練：11ケ所にて実施
（神奈川、沖縄（2回）、愛知、埼玉（2回）、大阪、東京、宮城、静岡、千葉）

③逆火試験：12ケ所にて実施
（神奈川、沖縄（2回）、宮城（2回）、愛知、埼玉、東京、長野、岐阜、静岡、千葉）

3. その他

可燃性ガスを使用する際には乾式安全器の設置義務が法規制されているが、最近の傾向として設置に対する意識に中だるみの状況がみられる。ユーザー巡回時の保安点検時には安全器が外されている状態が常態化しており、3年毎の点検が実施されていない等が散見されることから、全溶連会員の協力を得ながら乾式安全器の啓蒙を深めて頂きたい。

◇全国高圧ガス容器検査協会

今年度の協会活動は、LPG容器、一般高圧ガス容器は共に全ての活動ができない状況であり、来年度の活動についても現段階では未定となっている。

本日の報告として特段の報告はないが、先日参加した経産省の高圧ガスの小委員会における協議内容について報告する。

全国高圧ガス容器検査協会 伊藤常任理事

小委員会での報告として、現状におけるFRP容器のLPGおよび一般高圧ガスの医療用酸素ガス用複合容器は充填期限が15年であり3年毎の耐圧条件となっている。

特任の容器については、充填期限は20年で5年毎の耐圧条件となっているが、特任のFRP容器以外についても特任容器と同等の条件となるよう現在、協議に入っている。

FRPのLPG容器に関しては主に中国工業殿が輸入販売していると思われるが、一般高圧ガスを扱う業界での情報としては、医療用FRP容器が対象になる事から当協会内で実施する検査基準にて検証を行い、結果内容を経産省に提出するつもりである。

最後に廣瀬経済副委員長より「本日頂いた貴重なご意見等を参考にしてさらなる保安確保に活かした活動を推進していく」ということで、第28回保安対策連絡会議を終了した。

第11回 写真コンテスト 佳作作品

佳作「紅葉だより」

佳作「河口湖からの逆さ富士」

佳作「紅葉で着飾る清流」

佳作「紅葉だより」
太田英城様（埼玉：㈱サイサン埼玉支店）

佳作「紅葉で着飾る清流」
井澤久也様（埼玉：㈱サイサン関東LPG保安C）

佳作「河口湖からの逆さ富士」
小澤昌幸様（四国：高知溶材㈱）

★優秀賞1名・佳作3名・
参加賞24名（総勢28名参加69作品）
ご参加ありがとうございました。

単位組合紹介

岡山県高圧ガス協議会

所 在 地　岡山市北区内山下 1-3-19　成広ビル 6 階
TEL 086-226-5227　FAX 086-234-0741
理事長：山 本　敬 史
設　立：昭和 38 年 8 月 24 日
会員数：正会員 43 社　　賛助会員 4 社

山本会長

当協議会は、会員の発展及び安定を図るため、「高圧ガス取扱上の指導及び保安の啓蒙運動」、「需要の新分野開拓の研究」及び「その他業界の発展、安定に必要な情報収集等」の活動、事業を行っております。

年に１回の総会、年３回の理事会。総会では総会行事の他、会員に対しての講習会、その後に親睦を図るための懇親会を開催。理事会では全溶連会議等の報告も行い、全国の業界情報の共有も図っています。

また、月１回の工業部会では、情報交換・県内関連事業等の説明報告、新年会、年に１度、１泊２日で秋季総会を兼ね、懇親会、親睦ゴルフを開催しています。

保安関係では、毎年秋に「高圧ガス消費者保安講習会」を開催。毎回 100 名を超える消費者に受講いただき、全溶連刊行の保安テキストの頒布も行い、保安の啓蒙を図っています。その他、岡山県の指導の下、岡山県高圧ガス地域防災協議会との共催で会員を対象に「高圧ガス移動関係保安講習会」、「高圧ガス保安講習会」、「高圧ガス移動事故防災訓練」を開催しています。

また、岡山県や他の高圧ガス保安団体と共催で高圧ガス保安大会を開催し、保安意識の高揚を図るとともに、長く無事故を継続している事業所や保安に貢献した個人に対し賞状を授与しております。併せて岡山県総合防災訓練への参観、高圧ガス製造保安責任者・販売主任者試験への積極的な協力も行っています。

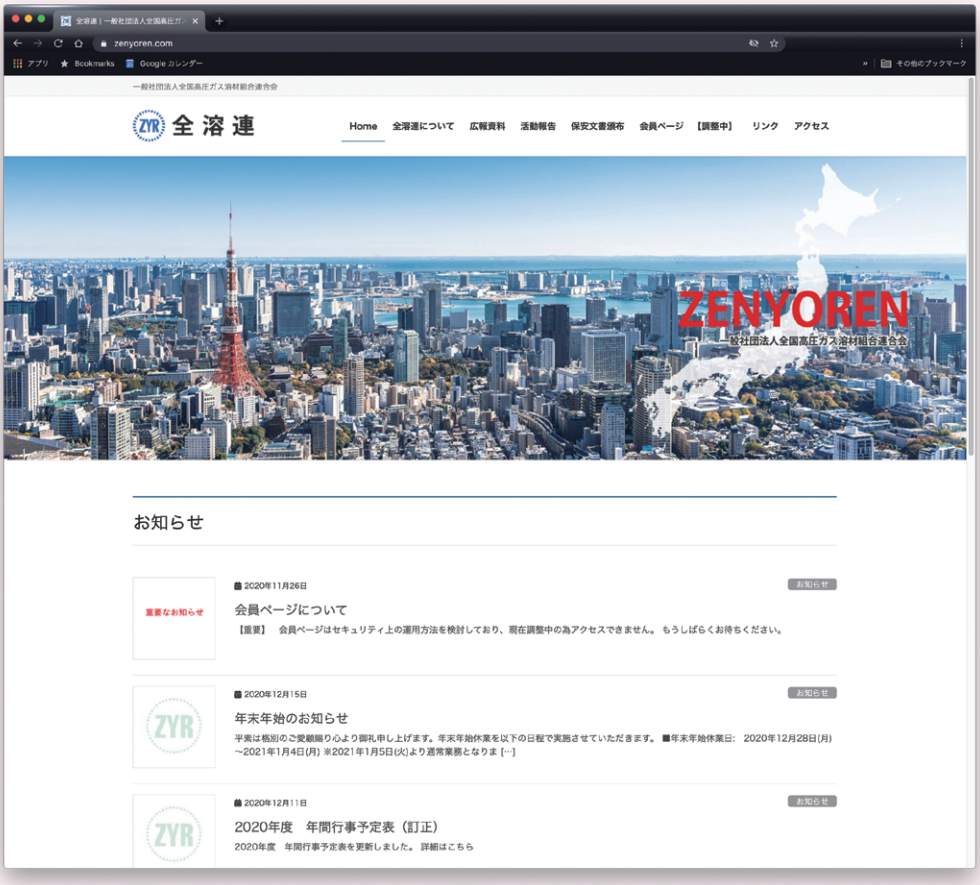
数年前に岡山県内で鳥インフルエンザが発生したことも踏まえ、岡山県農林水産部畜産課との協議のうえ、県としての炭酸ガス備蓄量の増量のお願い、連絡体制の確認等も行っています。

上記、諸々と記述いたしましたが、本年度は新型コロナウィルス感染症の影響を受け、いくつかの事業が中止、または縮小しての開催となりましたことを申し添えます。

当協議会としましては、これからも高圧ガス保安を第一義に考え、会員の協力、関係機関のご指導もいただきながら、最大の努力を続けてまいります。

講習会

全溶連の☆ホームページがリニューアル!!☆



全溶連のホームページを全面リニューアルしました。

ご利用いただく会員様により見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるホームページに改善いたしました。

また、コロナ禍においての行事予定などは、喫緊の状況に合わせて変更する事がございます。全溶連ホームページは、常に最新の情報に更新いたします。

これまで以上に会員様に役立つホームページを目指して運用していきますのでよろしくお願いいたします。

スマートフォンでの表示に対応!!

スマホで簡単アクセス

https://zenyoren.com/

全溶連　検　索

賛助会員の広場

年頭所感

一般社団法人　日本産業・医療ガス協会
会　長　今井　康夫

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス一色の年になりました。当業界も、業績予想も立てられないほど厳しい状況となりました。経営者の皆様は大変ご苦労なさったことと思います。この中にあって、医療用酸素は、当業界や関係業界の努力により、供給不安を生ずることなく、安定した供給がなされております。また、その後、巣ごもり需要が顕著となり、半導体産業をはじめとするネットワーク関連業界が活況を呈し、また、自動車産業も持ち直してまいりました。しかしながら、コロナ禍は続いております。我々は、この危機を乗り越え、ウィズコロナの時代、ニューノーマルの時代を切り開いて行かなければなりません。JIMGAも、産業ガス・医療ガスを通じて、貢献してまいりたいと思います。

JIMGAは、現在、次の５つの方針のもとに運営しております。①災害対策の充実、②保安強化で安全・安心・安定の追求、③環境・エネルギー問題への継続的取組、④法規制への対応推進、⑤広報活動の拡大で社会的認知度向上です。昨年は、災害対策と広報活動に多くのリソースを投入し、一定の成果が得られたと思います。今年は、コロナ禍の直撃を受けた保安講習会と、機運が高まってきている規制緩和に重点を置くことを考えております。

まず、JIMGAの重要な事業である保安講習会ですが、コロナ禍によって活動を制限せざるを得なくなりました。JIMGAは、基本的に会員各社から手弁当で派遣される委員の皆さんの力で成り立っている協会です。その皆さんが出張禁止・在宅勤務となれば、保安講習会を開催しようにも、そもそも講師の派遣や参加者の募集をすることもできません。こうした状況に対処するため、オンライン会議やオンデマンド講習などを徐々に導入してまいりました。そうした中で、ネットワーク環境を活用した講習と、従来の座学講習それぞれの優位性に気付かされました。保安知識を身に付けようと思えば、いつでもどこでも学習できる環境を提供する、つまり、オンデマンドでの保安教育ツールを充実させ、お使いいただくことが合理的なのではないでしょうか。一方、現場で実際に役立つ知識を身につけるには、実体験が必要であり、集合講習により、例えば、「危険なバルブ操作によって引き起こされる事象を参加者同士で議論し、リスク分析を行う」等の研修形式とすることが合理的ではないでしょうか。このような保安研修の在り方について、新たに設置する教育事業部門で議論を深化させてまいりたいと思います。

次に規制改革についてですが、昨今は、IoTやAI等の新技術の採用によって保安規制を見直す機運が高まっているように思います。ドローンを検査手法として位置付けたり、遠隔監視の導入による保安体制の合理化等です。安全を確保しつつ経営効率が上がる技術、ヒューマンエラーを最小化できる技術、海外で適切に運用され効果を上げている技術など、法規制によって導入が遅れていることが、まだまだ多くあろうかと思います。こうした課題について、規制緩和案件に取り組んでいる既存の各ワーキンググループを、当業界の事業に関わるすべての規制改革案件を統括する組織に再編し、高圧ガス保安協会や経済産業省と積極的に意見交換をしてまいりたいと思います。

本年も皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

あいおいニッセイ同和のおクルマ購入サポートサービスのご案内 ～どなたでもご利用可能です～

おクルマを購入の際は、同封のちらしでお知らせください。成約後に紹介謝礼として、ご紹介者またはご購入者にギフト券を差し上げています。ぜひご活用ください！

購入ディーラーがまだ決まっていない場合

全ディーラーが対象です
認定中古車も対象です
トラック、リース車両なども対象です

※購入予定の情報は商談開始前にお知らせください。商談開始後にご連絡いただいた場合は対象外となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご利用Q＆A

Q. 紹介してくれる自動車ディーラーとはどのようなディーラーですか？
A. あいおいニッセイ同和損保と取引のある自動車ディーラーをご紹介します。あいおいニッセイ同和損保が皆様の商談をバックアップします

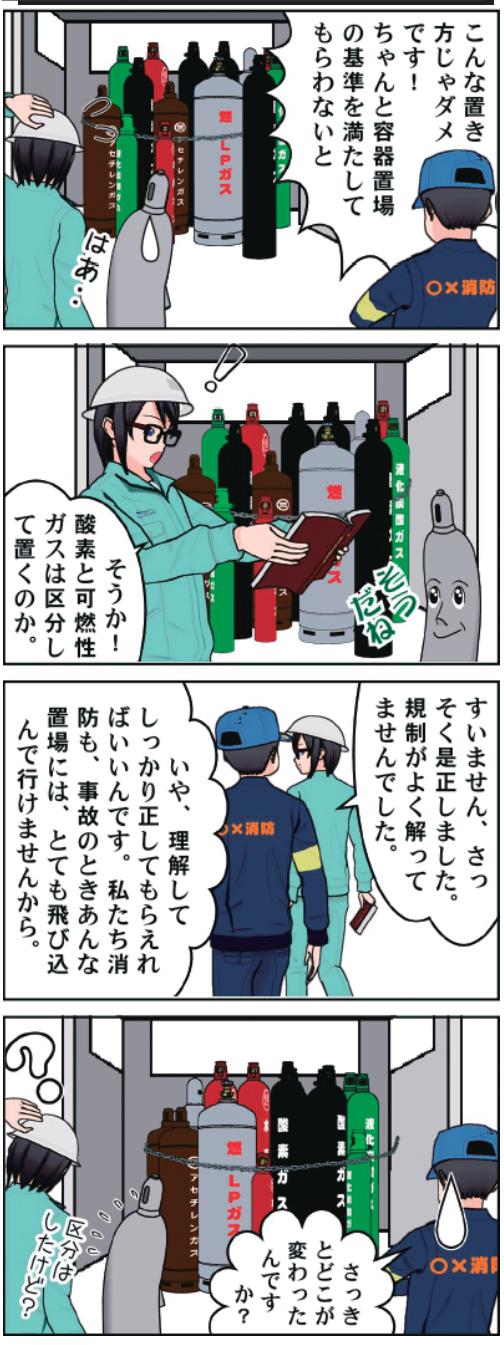
Q. このサービスは誰でも利用できますか？
A. ご家族やご親戚、お知り合いやご友人の方など幅広くご利用いただけます。

Q. 商談の結果、断りを入れても問題ないですか？
A. 商談開始後でもお心変わりなどの場合は、遠慮なくお断りいただいて結構です。

ぼくはボン兵衛くん

原作：封湯(ふうか)　作画：ひくさん

第三十二話「消防の立ち入り検査」の巻



医療ガス関連事業の防災・安全・安心 2020
メディカルガス2 情報メディア

好評発売中!!
医療ガスに特化した情報誌

A4判／104頁　価格／2,000円+税

《主な内容》

◎東日本大震災から10年目を迎え、当時の被災状況を写真で振り返り、地震・津波災害の記憶を辿る
◎医療ガス事業の防災・安全・安心対策を特集
◎関連企業に聞く防災・安全対策の今
◎行政側からHOT患者への支援を考える
【特別寄稿】厚生労働省の前医療関連サービス室長

●購入のお申し込みは…　産報出版株式会社　TEL：03-3258-6411　FAX：03-3258-6430

傷害補償に

全溶連・福祉共済制度

特定感染症補償特約あり EAタイプ（24時間補償）が追加されました。

ただいま新規加入受付中です！

NEW EAタイプ（特定感染症補償特約※あり）が新登場!

特定感染症補償特約※

特定感染症による後遺障害、入院、通院を補償します。

*特定感染症による死亡および手術は対象外となります。

特定感染症には新型コロナウイルス感染症も含みます。

※正式名称：特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約

例 新型コロナウイルス感染症の発病により、14日間入院した。

<お支払いする保険金例>（EAタイプ5口加入の場合）

傷害入院保険金日額 7,500円 × 14日 ＝ 105,000円　お支払いする保険金 105,000円

*保険責任開始日からその日を含めて10日以内に発病した特定感染症に対しては保険金をお支払いできません。

傷害補償　注目の補償

特定感染症補償特約

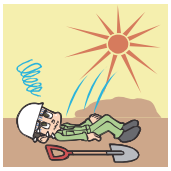
新型コロナウイルス感染症も補償対象

24時間補償EAタイプに特約セット

熱中症危険補償特約

日射・熱射による身体の障害を補償します。

傷害全タイプ



天災危険補償特約

地震・噴火・津波により被ったケガも補償します。

傷害全タイプ

このご案内は概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ずパンフレット（「全溶連・福祉共済制度のご案内」）および「重要事項のご説明 契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

団体お問合わせ先　一般社団法人全国高圧ガス溶材組合連合会　TEL 03-5296-0430

取扱代理店　株式会社 星和ビジネスリンク
〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル 4F
フリーコール 0120-288-270

引受保険会社　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部　営業課
〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19
TEL 03-6734-9608

（2020年9月承認）　B20-102224

発　行　所
一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会
東京都千代田区神田北乗物町12（大竹ビル）　Tel.03-5296-0430　Fax.03-5296-0435
http://www.zenyoren.com/　e-mail:honbu@zenyoren.com